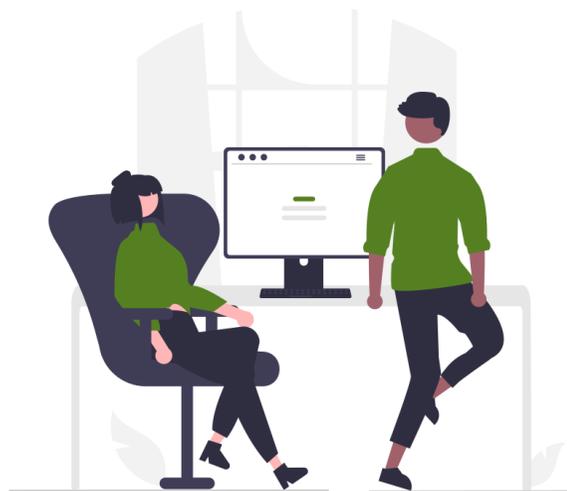


近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議 「カーボンニュートラル実現に向けた フューチャー・デザイン分科会」について



2024年5月
近畿経済産業局
近畿地方環境事務所

近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議

概略

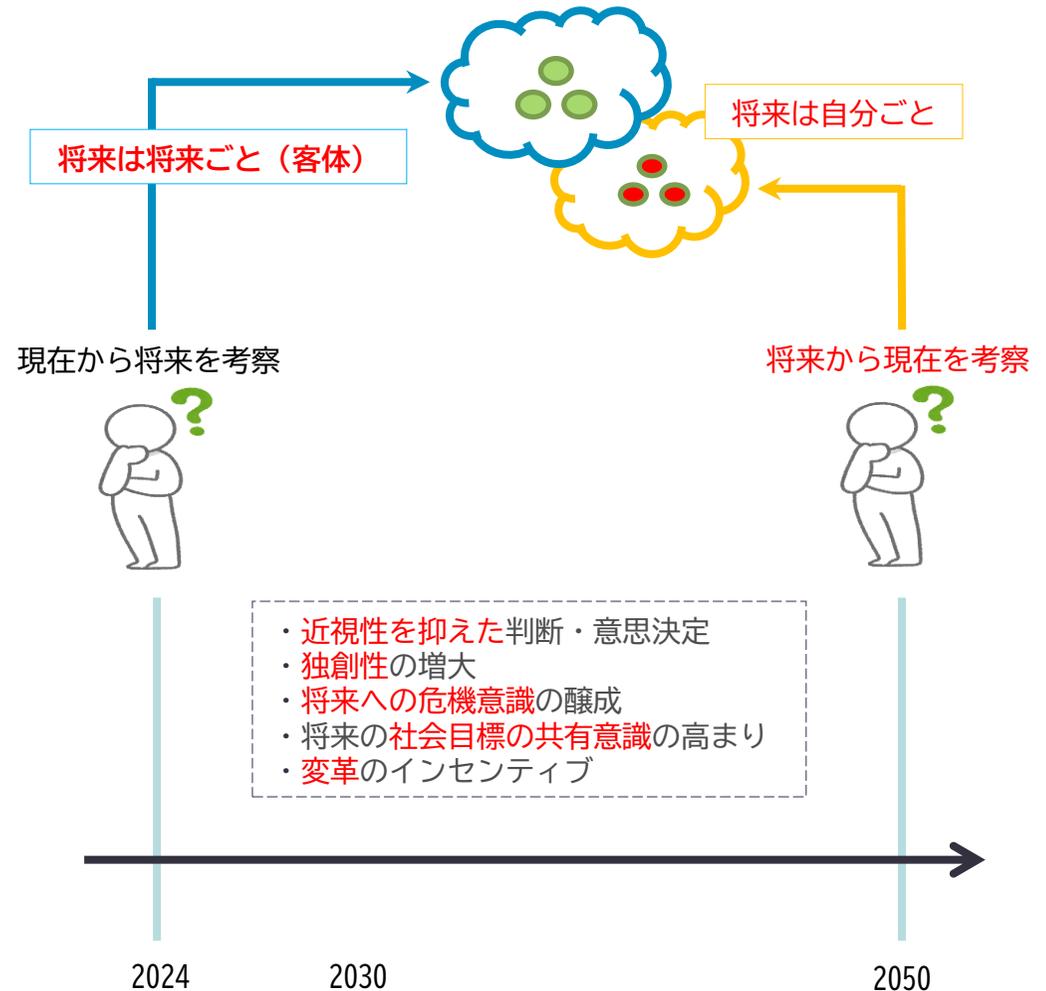
- ・「近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議」（以下、「本体会議」という。）は、地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する**情報交換・共有**や、エネルギー需給構造に関する**実態把握**等を図り、地方公共団体をはじめ地域の地球温暖化対策に関する**自主的な取組を促進**することを目的に平成17年度から開催。
- ・昨年度の第19回本体会議では参加機関からの情報提供に加え、「**フューチャー・デザイン・ワーク ショップ**」を開催。参加者同士の「**つながり**」の**深化**にも取り組んでいる。
- ・この取組に対し好意的な声が多く寄せられたことなども踏まえ、今年度は分科会を設け、改めてフューチャー・デザインを用いた議論をすることとした。



概略

- ・長期的な問題の解決にあたり、例えば、政策を検討する場に将来世代の代表者としての役割を持つ「**仮想将来世代**」を創出して、**将来世代の視点から現在の政策を考察**するなど、**将来世代の利益を考慮した意思決定のための仕組みづくり**を実践し、今を生きる我々と将来世代の双方にとって最適な解決策を導こうとするもの。
- ・これまでも、岩手県矢巾町、京都市、大阪府吹田市などで、まちづくり、**カーボンニュートラルの政策づくりの場で実践**されているほか、**民間企業の研究開発分野にも活用**されるなど、昨今、注目される政策手法。
- ・現在からの延長ではなく、将来を生きる者の視点で、**未来がどのようなになっているかを自由に想像**することで、将来世代に対する共感を生み出し、本質的な価値観への着目や**これまでにはないような独創的なアイデアも生み出される**ようになる。

現世代と仮想将来世代の視点



何のためにやるのか、 どういう意義があるのか

01 ワークショップ等を通じた参加者同士の「つながり」の深化

- ・ エネルギー、温暖化対策等、共通のテーマのもと複数回、顔を合わせて活発に議論し、**参加者同士の相互理解を促すこと等により「つながり」を深化**させる。
- ・ 「つながり」が深化することで、例えば、参加者同士が連携して、あるいは単独であってもお互いが刺激し合い、**これまでにはなかった新しい取組が実施される**こと等が期待される。

02 フューチャー・デザインに関する知見の獲得

- ・ 参加者はフューチャー・デザインの基本的な考え方を聞き、更にはその手法を活用した議論に参加することで、その知見を得る。
- ・ 参加者は得られた知識等を活用し、自らの地域のまちづくりやカーボンニュートラル等の**課題解決に中心的な役割を果たす**ことが期待される。

03 あらゆる方々にカーボンニュートラルの実現に向けた行動を促すこと

- ・ 現在に縛られない将来世代の自由な考えで未来を描き、その実現に向けて、役割が異なる様々な組織に所属する参加者同士がフューチャー・デザインを活用した議論をすることで、これまでにはないような独創的なアイデアをつくる。
- ・ そのアイデアを「きっかけ」、「ヒント」に、これまでカーボンニュートラルの実現に向けて十分に対応できていなかった方々も含め、**あらゆる方々がより積極的にアクションを取る**ことが期待される。



01 2050年を生きる将来人として2050年の絵姿を描くこと

- ・ワークショップ等を通じ、2050年を生きる将来人として2050年の具体的な絵姿を描く。
その上で、後述するメッセージ集、施策（アイデア）カタログを充実させる。

02 2050年を生きる将来人から202X年を生きる現在人に向けたメッセージ集をつくること

- ・後述する施策（アイデア）カタログの内容を充実したものとするために、2050年の具体的な状況を踏まえた将来人から現在人に向けたメッセージ集をつくる。

03 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、今後10年程度で取り組むべき施策（アイデア）カタログをつくること

- ・参加者やその他の方々が、自ら、あるいはほかの方々と連携して2050年のカーボンニュートラルの実現に向け取組を進めようとする際の、「きっかけ」、「ヒント」となるような施策（アイデア）カタログをつくる。

何をするか

01 会の位置づけについて

- ・近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議の中の分科会とし、名称は近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議「**カーボンニュートラル実現に向けたフューチャー・デザイン分科会**」とする。
- ・分科会とすることで、**様々な立場の参加者がテーマを限定して複数回ディスカッション**することが可能となり、先述の目的達成もしやすくなる。
※ 本体会議は会議設置要領で年1回程度の開催を想定。

02 参加者

- ・近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議の参加機関のうち地方公共団体や民間企業の方を中心に**20名程度**とする。

03 実施内容

- ・分科会を**3回開催**し（会場：桜ノ宮合同庁舎）、前頁に記載の内容をつくり出すために主に**フューチャー・デザイン・ワークショップを実施**する。
- ・フューチャー・デザイン・ワークショップでは、主に暮らしや働き方などライフスタイルの観点から議論を行い、取り組むべき施策（アイデア）等を検討する。

04 成果物の取扱い

- ・2024年10～12月の間で開催を予定している「**第20回近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議**」において報告するほか、**プレス発表**も予定。

05 その他

- ・状況に応じて他機関等の連携企画も実施を予定。

スケジュール【案】

2024年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			● (6/18) 第1回 開催		● (8/26) 第2回 開催		● (10/21) 第3回 開催					
		● プレス発表	いづれかの回で 他機関等との連携企画を実施（予定）					どこかで 第20回 近畿地域エネルギー・ 温暖化対策推進会議 開催 当会議で結果を発表				

参加機関（一部調整中の機関あり）

○ 経済団体：

（公社）関西経済連合会、大阪商工会議所

○ 民間企業：

大阪ガス（株）、関西電力（株）、
パナソニックオペレーショナルエクセレンス（株） ほか

○ 地方公共団体：

滋賀県、京都府、大阪府 ほか

○ 地球温暖化防止活動推進センター：

滋賀県、京都府、大阪府

事務局：近畿経済産業局、近畿地方環境事務所

協力：大阪大学大学院工学研究科 原研究室

大阪大学大学院工学研究科

テクノアリーナ「フューチャー・デザイン革新拠点」